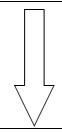
高等学校の適正規模について

1.島根県での過去の答申

昭和42年 島根県高等学校再編成対策審議会



・急増対策により大規模化した高等学校は、教育効果を高めるうえか ら志願者数の減少に伴い漸次適正規模に近づけること。

(答申の解説:生徒減少期にはいった今日、<u>8学級をこえる大規模</u> 校は学校経営の能率化、教育効果の向上等のうえからいって好ま しい姿ではない。)

昭和48年 島根県高等学校再編成対策審議会



・本校の適正規模

学校経営の能率化、教育効果の向上、教員配置等を考慮して、募 集学級数は4学級から8学級が適当であると考えられる。

昭和55年 島根県立高等学校再編成に関する専門員会



・学級増にあたっては、<u>昭和48年の答申に示されている「本校の適</u> 正規模」を考慮して行うこと。

平成 2年 島根県立学校再編成検討委員会



・募集学級数については、高等学校における学校運営や教育効果を勘案した場合、<u>8学級以内</u>が適当である。

平成11年 21世紀に向けた県立学校づくり検討委員会

- ・十分な教育効果を上げるための教育課程の編成・実施、教職員の適正配置、施設・設備の効率的活用など総合的に判断すると高等学校の規模は1学年8学級以内が望ましい。
- ・一方、<u>3学級以内の学校には運営上の問題点が指摘</u>されている。 多様な生徒のニーズを踏まえた教育内容を充実することや、生徒が 集団の中で切磋琢磨しながら学校行事や部活動等を活発に行うこと ができる規模を考える必要がある。



平成 1 1 年 県立学校再編成基本計画

高等学校の学校規模は1学年4学級以上8学級以内が適正である。

2.他県の状況

(1) 適正規模の有無

| 有 | 無 | 現在検討中 | |
|-----|---|-------|--|
| 4 3 | 3 | 1 | |

(2) 適正規模

| 3~8学級 | 4~8学級 | 5~8学級 | 6~8学級 | 6 学級 | 8 学級 |
|-------|-------|-------|-------|------|------|
| 1 | 2 8 | 1 | 7 | 3 | 3 |

(1)、(2)とも平成18年7月の他県調査結果